

安全な通学路へ集中した整備を

質問

各地で児童の登下校時の交通事故が増えている。

歩道の確保やスクールゾーンによる時間制限、通学路のカラー化などの対策は。

経済建設部長

歩道の確保は、用地の確保などが困難。警察、教育委員会と協議しながら対応する。スクールゾーンは、警察署、教育委員会など、関係機関と協議していきたい。通学路のカラー化は、現在、計画はない。

有し、現地を確認した中で関係機関と協議を進めたい。

質問

津島警察署管内の交通安全担当者と協議で、議題として上げ、考えていきたい。

質問

学校や教育委員会、保護者、経済建設部と協議しながら、危険箇所の改善を集中的にチェックしてやる必要があるか。

経済建設部長

教育委員会が保護者から意見を得て、現地確認して整理した資料をもらい、情報を共

北一色町四町の交差点は、

信号待ちの児童が左折する車に接触しそうになる。交差点から南の道路も狭く、路側帯も狭いため、大変危ない。スクールゾーンなどの検討をとの声が寄せられている。また、寿司屋の北の用水路が大変危ないとの声もある。対策は。

経済建設部長

北一色町の路側帯の関係では、地元の調整も必要だが、警察なども協議をしていきたい。用水のふたについては、早速発注をした。

巡回バスの安全な運行を

質問

4月、関越自動車道での高速バスの事故では、規制緩和で、運転手に対する安全対策が問題になっている。

市の巡回バスでも、運転手の健康や安全、働き方について、業者任せではなく、市が積極的に関与すべきでは。

4月から巡回バスの業者が変わり、運転手が急募された。体制は十分か。運転手の健康管理はどうか。入札の仕様書に運転手の働き方が全く入っていないが。

質問

4月以降、特に佐織地区では、「今まで乗降していた所で降ろしてもらえない」という声が多数寄せられている。これまでのように戻すか、バス停をきめ細かく設定するかの対策が必要では。

総務部長

バス停以外での乗降については、事故防止の観点から認めていない。見直しても全体的に支障がない部分については柔軟に対応していきたい。

総務部長

現時点では、支障なく運行されている。今後も安全な運行管理には注意したい。仕様書については、他の自治体を参考に勉強したい。



真野和久 議員



危険な北一色町四町の交差点